

平成26年12月19日

幕別町議会議長 古川 稔 様

民生常任委員長 谷口 和弥

民生常任委員会報告書

平成26年11月28日、本委員会に付託された事件を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告します。

記

1 委員会開催日

平成26年12月11日（1日間）

2 審査事件

陳情第21号 「安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書」の採択をもとめる陳情書

3 陳情の趣旨

平成26年に成立した「医療介護総合法」は、医療費抑制のため病床・病院を削減し、地域に追い出された患者の受け皿は地方自治体と住民の自助・共助でというものです。介護分野でも要支援者が利用できる訪問介護、通所介護などの保険給付を外し、「全国一律の保険給付から、地域ごとの事業へ」変容させることなどが盛り込まれています。厳しい自治体財政と医療・介護従事者の人材確保困難の中で、地域の医療と介護を崩壊させかねないものと考えます。

また、医療・介護の現場における多くの看護職員が「仕事がきつく、やめたい」と考えていることや、介護職員にあっては採用後1年未満の離職率が4割に及ぶなどの調査結果が出ており、医療・介護の崩壊を食い止め、安全・安心な医療・介護を提供する上でも大幅増員と賃金など処遇改善、併せて診療報酬・介護報酬の改善が急務です。

以上の趣旨から意見書の提出を求めるものです。

4 審査の経過

審査にあたっては、陳情の趣旨について論議がなされ、全会一致で結論をみた。

5 審査の結果

「採択」すべきものと決した。